

# 畳製作 ▶ 畳座布団

「畳製作」とは、日本家屋の主な床材として利用される畳をつくる仕事です。畳の表面は、イグサを編み込んでつくってあります。



**対象者**  
小学 5~6年生

**所要時間**  
120分

**材料リスト**

- 畳表 [450mm × 450mm]
- 畳縁 [550mm]
- ウレタンフォーム [300mm × 300mm ~ 400mm × 400mm]
- 切糸

参加者数分  
参加者数分 × 4  
適宜

**使用工具リスト**

- 縁引(へりひき) 参加者1名につき4本
- 待針(まちばり) 参加者1名につき2本
- 渡(わたり)
- 手当(てあて)
- 畳針(たたみばり)

参加者数分

## 体験した児童・生徒の感想

- 最後まで丁寧に教えていただいたので、思い出に残る体験ができました。
- 指導の先生に、分かりやすく教えていただいたお陰で、難しかったけど上手くできました。
- 丁寧に教えていただいたので、とても楽しかった。
- 畳座布団で、座布団の他に、コースターと小さい畳を作れたのも良かった。



## 担当教員の感想・要望など

- 畳と触れ合う機会が徐々に薄れていく児童達に、肌で畳を感じてほしいという思いから、本体験の実施を導入しました。
- 指導者の方々が、優しく、かつ、丁寧であったこともあり、児童達が予想以上に興味を持って取り組んでくれました。
- このような事業は、国として、もっともっと拡げて行ってほしいです。

## 作業工程の概要



- 下準備**
  - 半完成品にしておきます。(片側の縁付け作業と片側の框縫い作業を残して準備しておきます。)
  - 半完成品にウレタンフォームを入れます。
- 加工・作業**
  - 土台を待針で固定し、縁を張ります。
  - 畳表に畳縁を縫いつけます。(平刺し縫い)
  - 渡を使い、縁の位置を確認して縫います。
- 仕上げ**
  - 縁を折り、角を作ります。
  - 返し縫いをして、框を縫いとじます。
  - 最後に霧を吹きます。



## 学校側との事前調整事項等

- 畳台、畳の上で作業を行うため、実施する場所の広さ・明るさ、人数の確認を行いました。

## 安全作業上の注意事項

- 畳針を使うときは、必ず手当をします。
- 安全確保のため、児童の座る位置に間隔をとります。

## 指導者からのアドバイスなど

- 代表の指導者が、参加者全員に材料・道具の説明を行い、集中させます。
- 一人の指導者が教えられるのは、1~2人が適当です。
- 参加者の能力差を見極め、終了時間が同じになるように手助けし、達成感を味わってもらうことが大切です。
- 後片付けも一緒に行うのがよいです。



## 協力

- 埼玉県技能振興コーナー (048-814-0011)
- 熊本義雄(ものづくりマイスター：畳製作) / 吉田一貴(ものづくりマイスター：畳製作)
- 上尾市立大石北小学校、越谷市立大袋小学校
- 埼玉県畳高等職業訓練校